

多高通信

第216号 令和5年10月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

熱戦 体育祭!

■体育祭実行委員長

3年1組 大槻 蘭子(多賀城第二中出身)

今年も、新型コロナウイルス感染症の第五類移行に基づき規制が緩和されマスク着用義務がなくなり、より白熱した闘いが見られ校庭が笑顔で満ち溢れていました。運営に携わった実行委員や先生方、全校生徒一人一人の協力で素敵な思い出として残ったと思っております。コロナ禍では実施不可であった種目の検討や実施において、今年の実行委員は大いに尽力しました。実施することができなかつた種目や、案にとどまった種目が来年の体育祭では実施できることを期待しています。多高三大行事は終わりましたが、気持ちを切り替え思い出と共に勉強や部活動に励んでいきましょう!

特に多くの3



年生はこれから受験を迎えると思えます。互いに励まし合い最後まで頑張りましょう。そして、1・2年生は来年度以降の多賀城高校をさらに盛り上げてくださ

災害科学科

武蔵大学交流会!

9月5日

(火)に本校を会場にして、武蔵大学と交流会を実施しました。本校災害科学科の目的として、学科の取組を説明することで改めて自然災害・防災・減災・伝災の学びの意義を考える機会とし、大学の専門的に学ぶ学生との交流を通して、今後どのように自分たちの学びを発展させ社会に発信していくかを深く考える機会とすることでした。また、武蔵大学さんとしては、防災教育のパイロットスクールとしての本校災害科学科の取組を知ることや生徒との交流を通して、防災教育の意義や学校防災について深く考える機会とする目的がありました。各校の活



動紹介と「防災について小・中・高で何を児童生徒／教師は学ぶべきか」を課題としたグループワークを実施することで、有意義な交流会となりました。

普通科

一学年フィールドワーク

9月27日

(火)に、一

学年普通科フィールドワークを実施しました。地域における課題を訪問企業・団体から学び、自ら地域課題発見・解決の糸口を探ることで、普通科の課題発見力の一端を担うものとして実施されました。仙台火力発電所での見学調査、多賀城跡南門と多賀城跡での調査、蒲生干潟での講話調査、塩竈市津波防災センター周辺での現地調査、B & G 海洋センターにて台風19号の被災状況と河川防災についての講話、鹿島台公民館にて絶滅危惧種の保護方法についての講話など、各企業・団体からのご協力により実



施できた体系的な学びにより、各学問分野への興味関心が向上しました。また、東日本大震災の被災地である宮城県(多賀城市・七ヶ浜町・塩竈市等)において、地域における課題を訪問企業・団体から学ぶこともでき、今後の課題研究に活かせる有意義な時間となりました。

吹奏楽部

マーチングコンテスト全国大会出場!

■吹奏楽部部长

2年2組 船木 はるか(東仙台中出身)

10月1日(日)に青森県のマエダアリーナで行われた第36回全日本マーチングコンテスト東北大会にて、金賞を受賞し11月19日(日)に大阪城ホールで行われる全国大会への推薦をいただきました。出場枠は二枠と狭き門で、自分たちの今までの目標であった全国大会出場の切符を手にすることができ、とても嬉しく思っております。また、ここまで来られたのは先輩方の力が大きく伝統として基礎基本の練習方法を定着させ、聴いていただく方が感動していただける音楽表現やサウンドを残してくださいとくださったと感じております。また、先生方や保護者の皆様、地域の方々の温かい応援があり実現できたものと考えております。本当にありがとうございます。

これから全国大会に向けて更に演奏の完成度を上げ、自分たち出来る最高の音楽を作り上げられるよう努力を惜しまず、明るく前向きに頑張ってください。今後とも応援よろしくお願いたします。

